

# 古田晁記念館文学サロン

出版社「筑摩書房」創立者で北小野出身の故・古田晁にちなんだ講演会です。

昨年、「太宰治賞」を受賞した作家サクラ・ヒロさんの講演会と、最晩年の古田を知る編集者の山本克俊さんの講演会の2部構成で行います。古田の出版への思いや筑摩書房在籍時に会った作家たちとのエピソードなどをお聞きします。

2018

10/21 日

13:30~16:00

塩尻市市民交流センター

(えんぱーく) 3階多目的ホール



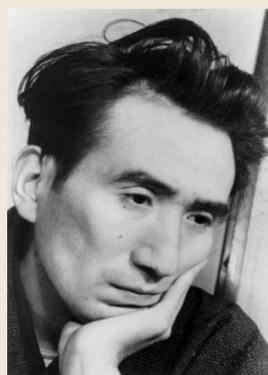
古田 晁

## 第1部

「太宰治賞を受賞して  
～デビューまでの道のりと、文学への思い～」  
講師：サクラ・ヒロ(作家)

## 第2部

「忘れ得ぬ人々ー筑摩書房と私」  
講師：山本克俊(元筑摩書房編集者)



## 太宰治賞とは？

太宰治賞は、1964年に筑摩書房が創設した小説の新人賞です。これまでに吉村昭、加賀乙彦、宮尾登美子など多くの著名な作家を輩出してきました。1978年に一時中断するも、1998年、太宰治没後50年を機に筑摩書房と三鷹市の共同主催により復活しました。太宰治賞を創設した筑摩書房の創立者である古田晁が塩尻市の出身であることから、筑摩書房で発行した多くの資料を塩尻市立図書館にご寄贈いただいています。

# 古田晁記念館文学サロン

## 第1部

13:30～14:30

「太宰治賞を受賞して～デビューまでの道のりと、文学への想い～」  
講師：サクラ・ヒロ(作家)



1979年愛知県生まれ、大阪府出身。立命館大学文学部卒業。IT企業で勤務後、フリーライターとして活動。2016年、『星と飴玉』で第32回太宰治賞の最終候補に選出。2017年、『タンゴ・イン・ザ・ダーク』で第33回太宰治賞を受賞。

2017年に『タンゴ・イン・ザ・ダーク』で第33回太宰治賞を受賞した、小説家サクラ・ヒロの講演会です。37歳でデビューを果たすまで、仕事の傍らどのように小説を書き続けてきたのか。新人作家となった今、どのような想いで文学に取り組んでいるのかなどについて、彼を支えた筑摩書房の編集者と共に語り合います。



14:30～14:50

本の販売&サイン会

## 第2部

14:50～16:00

「忘れ得ぬ人々ー筑摩書房と私」  
講師：山本克俊(やまもとかつとし)



1948年神戸生まれ。早稲田大学法学部卒業後、1972年筑摩書房に入社。ちくま新書編集長を経て、全集編集部部長。宮沢賢治全集や柳田国男全集など個人全集・シリーズの編集に従事。かたわら太宰治賞事務局・日本大学芸術学部文芸学科非常勤講師を務める。およそ40年にわたる編集者生活の後、2012年定年退職。現在は、フリーの編集者として出版に携わる。

青二才の駆け出し編集者時代を皮切りに、宮沢賢治の実弟清六さんや詩人の草野心平さんら忘れえぬ人々との出会いのエピソードを交えながら、編集現場の視点から疾風怒濤の時代(1970ー80年代)の筑摩書房の姿とその魅力に迫ります。

## 申込方法

### ■申込開始日9/9 (日)

- ①本館総合カウンター
- ②電話 (0263-53-3365)

③Eメール tosho@city.shiojiri.lg.jp

件名 「10/21本の寺子屋申込」

本文 1.参加者全員の氏名(フリガナ)、2.代表者電話番号、3.お住まいの地区、  
4.この講演会を何で知ったか(新聞、広報など)